

ほけんだより

性教育特別号 1年生

大庄中
R3.12.2

講師:元保健室の先生
井上 鈴佳さん

テーマ【性のあり方は十人十色】



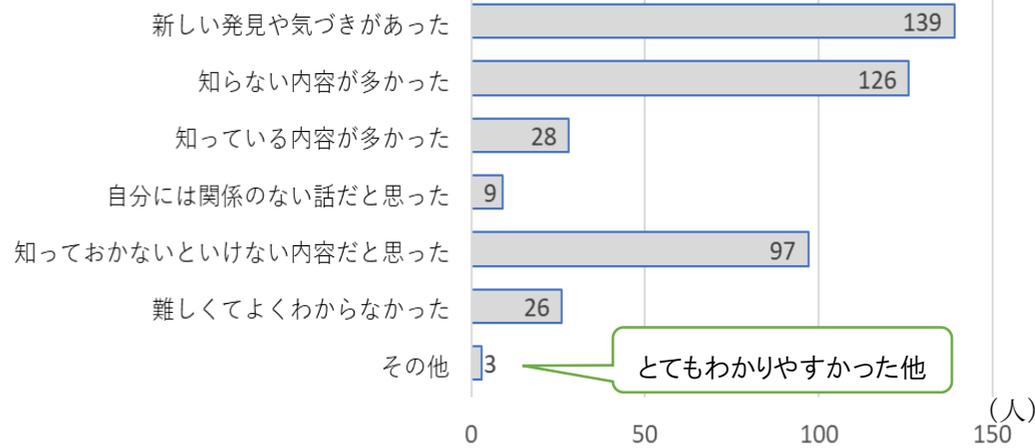
HPより



講演会より

- ～LGBT層の人たちの割合～
- 約11人に1人くらい
 - 左利きの人と同じくらい
 - AB型の人と同じくらい
 - 「佐藤さん・鈴木さん・高橋さん 田中さん・伊藤さん・渡辺さん」の苗字を合わせた人数以上
 - ★いないのではなく、言っていない。みえていないだけ

講演会は、どうでしたか？

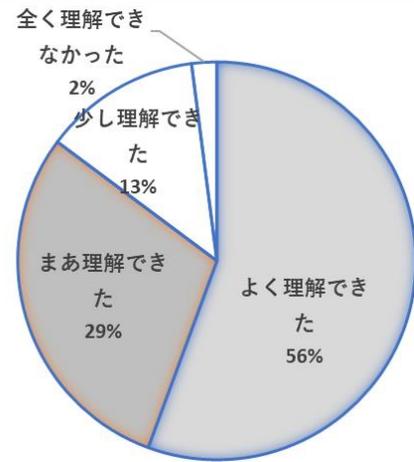


～心に残った言葉は？～

- 性別は100個以上
- 性別は男、女だけじゃないんだ
- 自分らしい生き方
- アウトティングはその人の生死に関わる
- どんな人生でも自分は自分だと信じて生きる
- アライ(ALLY)
- 人は誰のことを好きになっても良い
- 男らしい、女らしいを自分らしいに
- ゲイの先生がカミングアウトした時に生徒が「□□先生は□□先生でしょ」って言ってくれたこと
- その人にとって何が一番大事かを考えるということ

1年生のみなさんにとっては、初めての性に関する講演会でした。井上さんのとっても明るくて元気な声に引き込まれ、あっという間の時間でしたね。素敵なパートナーさんや、お友達も紹介していただき、色々な生き方に触れることができました。みんなの感想からは、性別は色々あっていいんだ。特別な事じゃないんだというメッセージもしっかり伝わっていたと思います。同時に色々学んだことで、自分の性についての感じ方に戸惑いや不安を感じた人もいたかもしれません。でも、井上さんがおっしゃっていたように、感じ方は変化するものだし、もし、不安でどうしようもなくなったら、その気持ちを受け止めてくれる人も、今回の講演会で増えたのではないかと思います♡

アウトティングの意味を理解した？

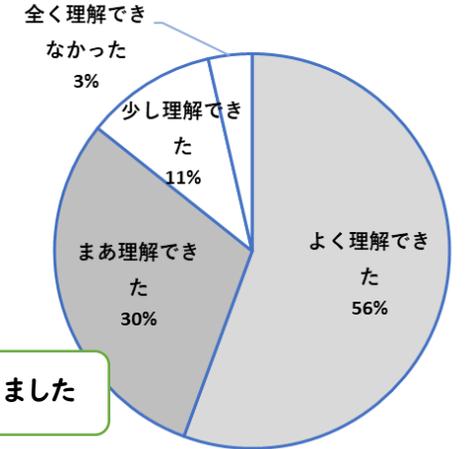


○アウトティングとは
「○○君って男が好きらしいよ」
等と本人の許可なしに他人へ言うこと
○カミングアウトとは
誰にも言ってこなかった自分の秘密を自分から打ち明けること



両方とも8割以上の方が理解できました

カミングアウトの意味を理解した？



～それぞれの感想～

- 「LGBTだと伝えたあとでも今まで通り話しかけてもらうのが、一番嬉しかったです」という言葉が印象的だった
- 男女では結婚できるのに同性同士だと結婚できないのはおかしいし、いろんな姓の人が生きやすい社会になってほしいなと思いました。
- 人がどんな性でも楽しく誇らしく生きられる世界になればいいなと思いました。
- 一人くらい井上さんの周りの人が否定するとおもったけどだれひとり何も言わなかったことが印象的でした
- この世界にはまだ理解されていない性がたくさんあって、その理解されていない性を、ちょっとずつ理解されつつあるものとして、自分の周りの人たちに伝えていけたらいいと思う。外国ではもう理解されつつある多様な性。なのになぜ日本ではまだあまり知られていないのか、なぜ外国では理解されるようになってきたのかを調べて、今後の日本の改善点を知っていけたらいいと思います。今回の講演会で、おかまとかほもとよく呼ばれているゲイや、レズと呼ばれていることが多いレズビアンの人たちに対する、いじめや誹謗中傷などの嫌がらせをする人に対して、嫌悪感を抱くようになりました。こういった講演会を通して、こういう気持ちが出てくるのは、こういう問題を解決しようと思ひ、日々奮闘している人たちのおかげだと思います。なのでこういった経験を大切にして、今後の生活でも意識しつつ、みんなが楽しく、みんなが多様な性を、理解できる世の中になっていったらいいなと思います。
- 相談してくれた人に 話してくれてありがとう、できることある？、誰に言いたくて誰に言いたくないの？ と言う。
- 人によって性は違うから○○であるべきという考え方がなくなればいいと思った。もし自分が相談されてもされる前と同じ接し方で友達を続けたい。
- 人それぞれなんだなと、思った。あと、好きな人や、告る人は、異性じゃなくてもいい。

*裏面には、みんなからの質問に井上さんが答えています。